

Objectives...留学する意味、なぜ人生目標が将来大事になってくるのか？

今後10年--20年後の自分の進路を考えるきっかけ

23期 理数工学科卒

スプリング・リック

キャンターベリー大学工学部1年目を終了し、いつものようにニュージーランドのオマラマ飛行場へ車で3時間ドライブ後グライダーに乗り換え離陸、上空2500mに達したところで、緊張の中私が座るグライダーの後席から前席に乗っている14歳のパイロットに“Having fun?”と問いかけると、一生忘れることのない感動のほほ笑みを青少年パイロットは自然と私にプレゼントしてくれました。着陸後、彼はご両親と大きくハグ、トップガンを見て以来、彼の小さい頃からの夢だった飛行機を自分で操縦し、空を飛ぶ夢を初めて叶えることができた日となりました。元は自分の夢だった、あこがれだったものをより若い世代にかなえてほしい。そして彼らにまた新たな夢を見つけてもらいたい、そしてその夢を全力で追ってもらいたい。まるで8年前の私に私自身が教官として教えているような感覚に陥ったのがニュージーランドで行った私の最初のグライダーインストラクターとしてのフライトでした。その瞬間から私は自分中心の生き方に初めて疑問を持つようになりました。12歳から北海道滝川市でグライダーを飛び始め、17歳(当時理数工学科2年)の時トビタテ留学JAPANで2か月半ニュージーランドへグライダー留学、その後3年生の期末定期考査終了日にニュージーランド行きの便に搭乗しニュージーランド留学スタート、そして現在まで約2年半現地に滞在し複数回進路変更をしたのち、ようやく私が死ぬまで追いつきたい人生目標を見つけました。

TED (Technology, Entertainment, Design) という幅広い分野についてとても面白い考えを持つ方々がプレゼン提供する取り組みが今世界中で行われています。その中の1人である Adam Leipzig 氏が述べる人生の価値をポジティブにとらえ人生を心からポジティブに楽しんでいる人が共通して知っている点5つを彼はこう説明しています。“Who they were?”, “What they did?”, “Who they did it for?”, “What those people wanted or needed?”, and “What they got out of it...what changed them as a result?” 皆さんも一緒に考えてみましょう。あなたのお名前は？今あなたが1番自信をもって誰かに教えることができること・ものは何ですか？次にそれを誰に教えるか想像してください。誰(どの人たち)へ教えますか(教えたいですか)？次になぜその人たちがあなたのところへ来るのか想像してください。その人たちがあなたから何を必要としていますか？そして最後に、あなたのおかげでその人たちが以前とどう変わったのか教えてください。どうでしょうか？

私が考える留学とは英語という道具(手段)を学びに行くものではなく、先ほどの5つの質問を肌で体験し、自身の世界観を広げ、1度きりの人生で一番大切である目的を、多くのかかわりを通じて自分なりに向き合い自分なりの答えを見つける旅であると思っています。たとえビジネス分野が航空関係、金融関係、農業関係などバラバラでも、今後の未来のビジネスモデルは人に夢を与えるポジティブな人助けができるものだと考えています。それがビジネスへの就職であっても、起業であってもそのビジネスのあるべき趣旨は変わりません。自分の人生目標に向かって常にチャレンジするモチベーション(イノベーションマインド)をまずは探すそのきっかけのスタート地点であるのが留学だと思います。

私はグライダーという世界共通の空の言語を通じて数多くの方々にたくさんの経験をさせてもらい、自分の置かれた環境の変化からその環境に慣れ、そしてその環境以上のものを目指す価値観の作り方を教わりました。具体的には、日本そして世界の人口減少や少子化問題、一極集中による過疎化に伴い食料品質の低下、異常気象や環境破壊・汚染による第一次産業の不安定度の拡張、若い世代への教育に関して現代のベルトコンベアのような学び方よりも1人1人の多様性を最大限に発揮できる教育方法としてのスタート地点はどういったものか？などなど、私たちの世代が解決しなければいけない分野がもう崖っぷち寸前まで来ている中、これをどう解決していけばいいのか？この2年半ニュージーランドでの経験は私に人生目標、人との関係の重要性、そして何より世の中を少しずつポジティブな方向へ転換していくビジネスへのイノベーションマインドを教えてくださいました。可能性は無量大、昔どこかで聞いたことがあるフレーズの本当の意味をようやく留学を通じて理解できました。最後に私をグライダーのインストラクターとして育ててくれた、そして今ある自分を大きく後押ししてくれた恩師 Roger さんの玄関に飾られてあった言葉をご紹介します。“Time is free, but it's priceless. You can't own it, but you can use it. You can't keep it, but you can spend it. Once you have lost it, you can never get it back.”いま自分の人生に一番大切なことをぜひ1度考えてみてください。

